

- この説明書は必ず施工される方にお渡してください。
- 本製品は、薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~170mm)に取付けられます。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

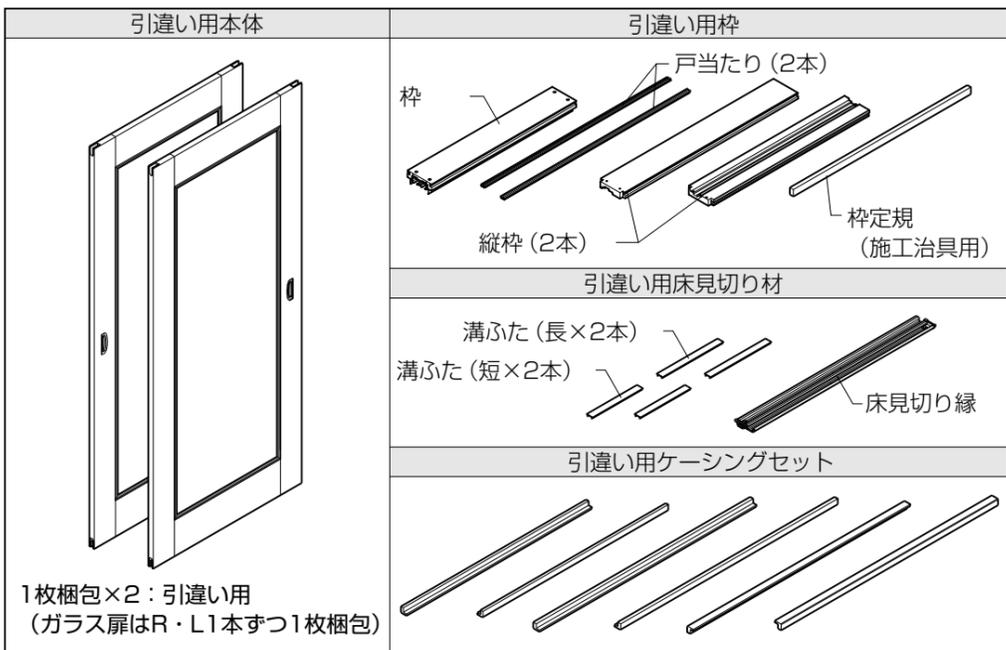
●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けない事を確認してください。押し込みが足りないと、本体が落下するおそれがあります。

■施工上のお願い

- 縦枠は床上面より12mm長く設定してあります。納め方により切詰めが必要になります。詳しくは「**1** 縦枠の切詰め」をお読みください。記載内容に従わないと床面と本体チリ寸法が設定通りにならなくなります。
- 枠を取付ける際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 集成材を使用していますので枠にソリ、ねじれがある場合があります。かい木を使用し、建具枠の水平・垂直を調整してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないように(特に中縦枠)注意してください。
- 造作材・建具枠と、柱・間柱・まぐさの間には必ずかい木を入れてください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- かい木は合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 本製品は上吊り方式を採用しています。はり(まぐさ)は、強度を増すため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。上枠の垂れ下がり原因になります。
- ガイドピンは「**7** ガイドピンの取付け」に従い取付けてください。本体の開閉操作に支障が出る原因になります。
- 本体にダンブロンテープ・ガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



■枠セット

		引違い用	片引き用
枠	上枠	1	1
	縦枠	2	1
	中縦枠	—	1
	小縦枠	—	1
	幅木	—	1
部品セット	戸当たり	2	1
	引違い用	1	—
引違い用		—	1

(引違い用)

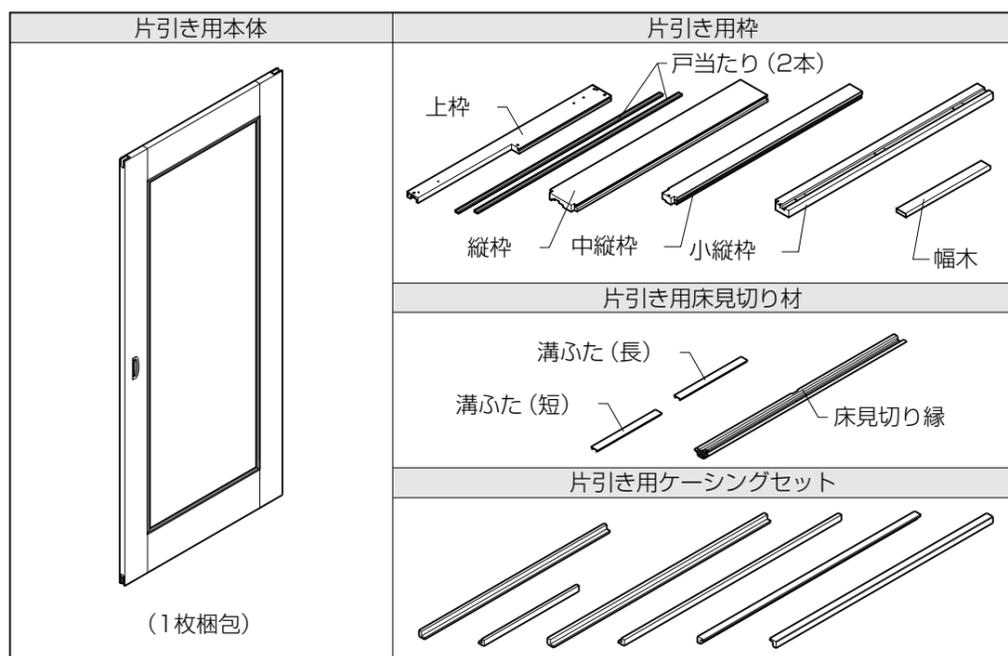
組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※9本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	12本
ガイドピンセット	2セット
吊車	4個

※予備用4本含む

(片引き用)

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠取付け用トラスタッピンねじφ4×60	※9本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	12本
ガイドピンセット	1セット
吊車	2個

※予備用4本含む



〔引違い用床見切り縁部品セット〕

床見切り縁用ガイドピン	2本
床見切り縁用ガイドピンカバー	2個
ナベタッピンねじφ4×40	10本

〔片引き用床見切り縁部品セット〕

床見切り縁用ガイドピン	1本
床見切り縁用ガイドピンカバー	1個
ナベタッピンねじφ4×40	8本

〔引戸錠セット〕

サムターン本体	1個
サムターン取付け 用皿小ねじM3×10	2本

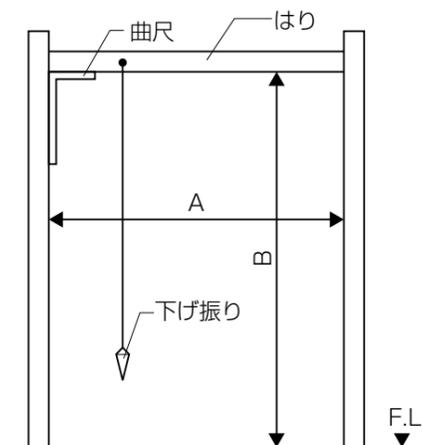
■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

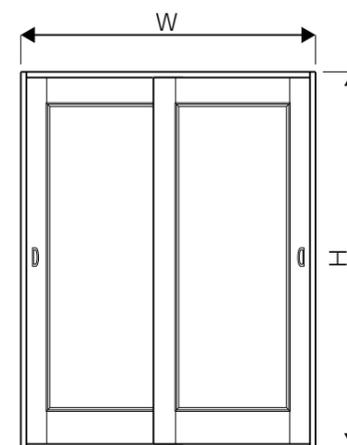
開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

※本製品は、上吊り方式を採用しています。はり(まぐさ)は、強度を要するため、断面寸法105×180 (mm) 以上を使用してください。

●開口寸法



●製品寸法

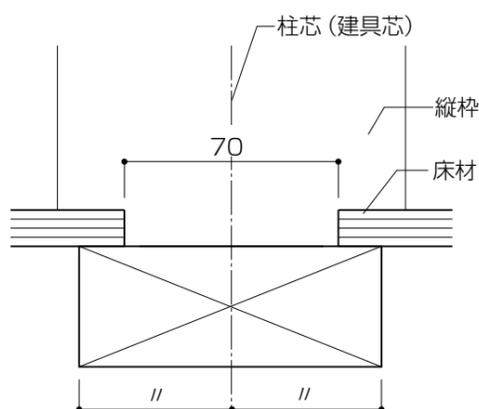


■床の張り方

〔床先張り(枠後付け)の場合〕 ※床見切り縁材を使用する場合のみ

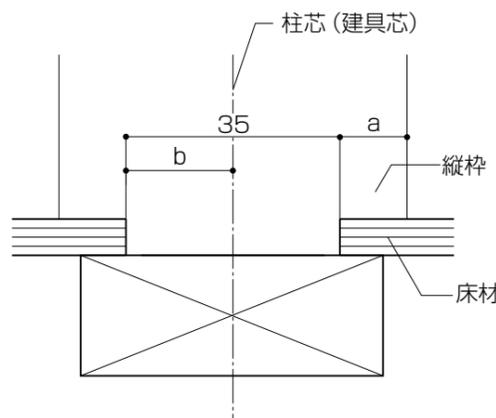
●引違い

※床材は、柱芯(建具芯)を中心に70mmあけて張ってください。



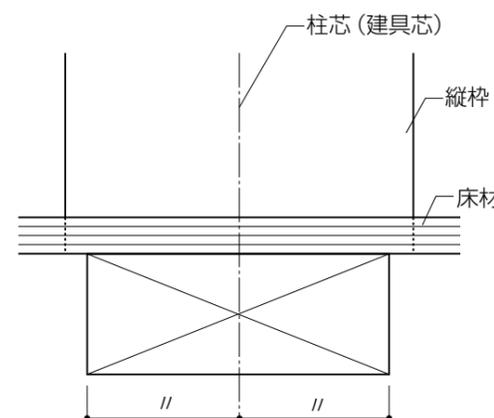
●片引き

※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側に35mmあけて張ってください。
柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に35mmあけて張ってください。



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※枠取付け後、縦枠にそって床材を張ってください。



(単位: mm)

枠機種	a寸法	b寸法
薄壁用	22.5	0
厚壁用	49.5	13.5

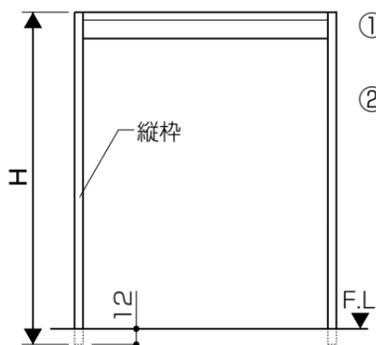
■取付け順序

1 縦枠の切詰め

- 縦枠は、床上面より12mm長く設定してあります。縦枠の納め方により下端の切詰めが必要になります。
(床面と本体下部のチリ寸法が8mmになるように設定してあります。)

① 床後張り (枠先付け) の場合

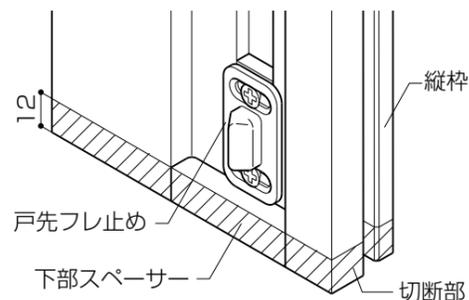
- 縦枠の切詰めは、必要ありません。
なお、15mm厚の床材を使用する場合、縦枠 (中縦枠、小縦枠) の下に3mm厚の木端 (現場手配) が必要となります。
- ※12mm厚未満の床材を使用する場合は、床材を施工後、右記②「床先張り (枠後付け) の場合」に従ってください。



② 床先張り (枠後付け) の場合

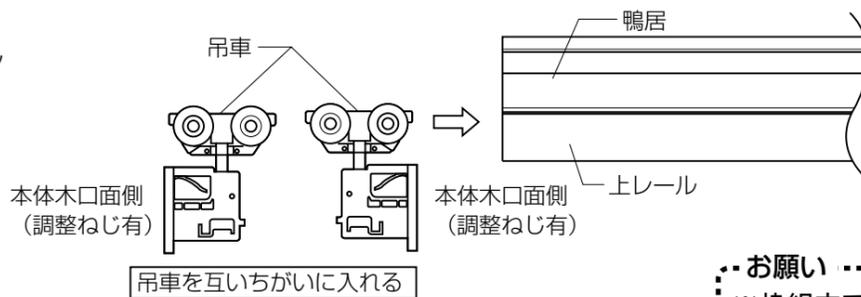
※床見切り縁材を使用する場合も同じ

- ①下部スペーサーは、必要なくなりますので取除いてください。
- ②床材の厚さに関係なく、縦枠 (中縦枠・小縦枠) 下端を12mm切詰めてください。



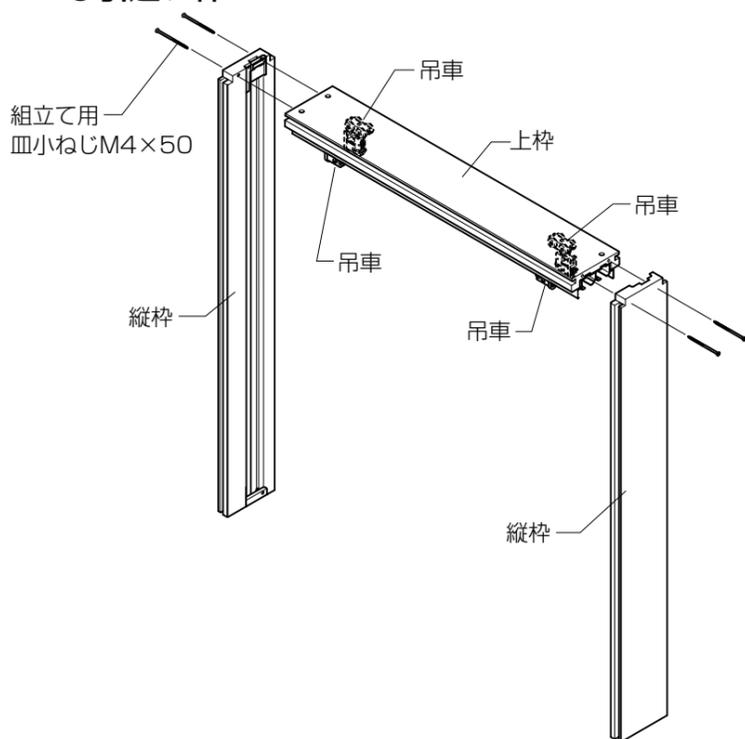
2 枠の組立て

- ①吊車を互いちがいの向きにして上レールに入れてください。

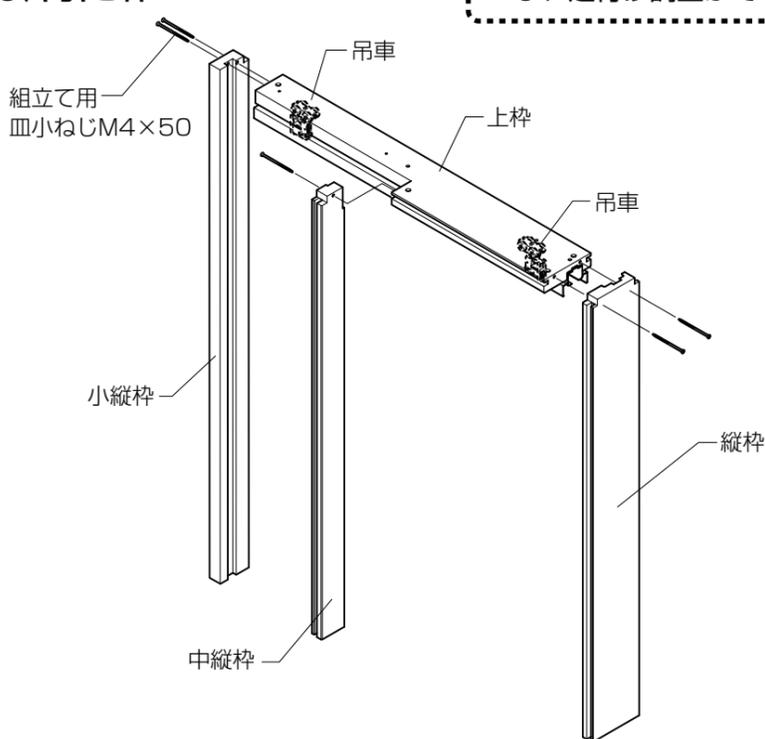


- ②図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ (皿小ねじM4×50) で固定します。

●引違い枠



●片引き枠



お願い

※枠組立て前に鴨居レールに吊車を挿入してください。
吊車の入れ方を間違えると本体の吊込み及び、建付け調整ができません。

3 枠の取付け

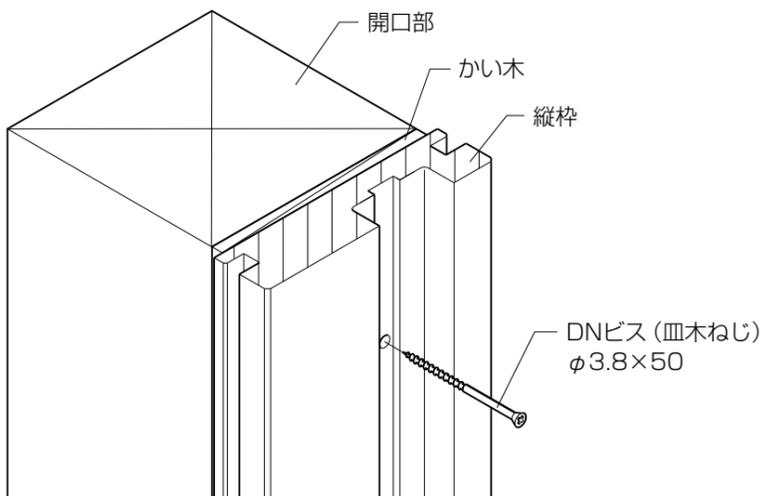
開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

●鴨居

※鴨居はナベタッピンねじφ4×40で固定してください。

●縦枠・小縦枠

※DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50で固定してください。

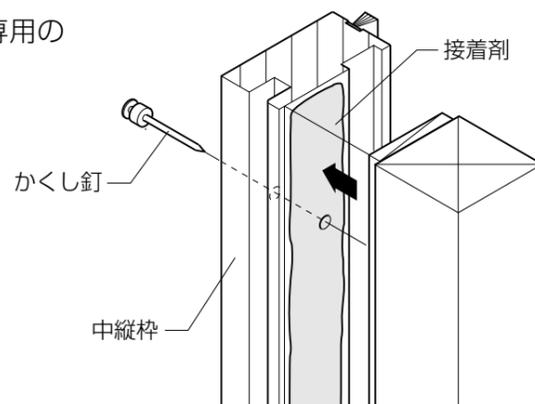


お願い

※片引き・引分けの建具引き込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。

●中縦枠

※裏面に接着剤を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

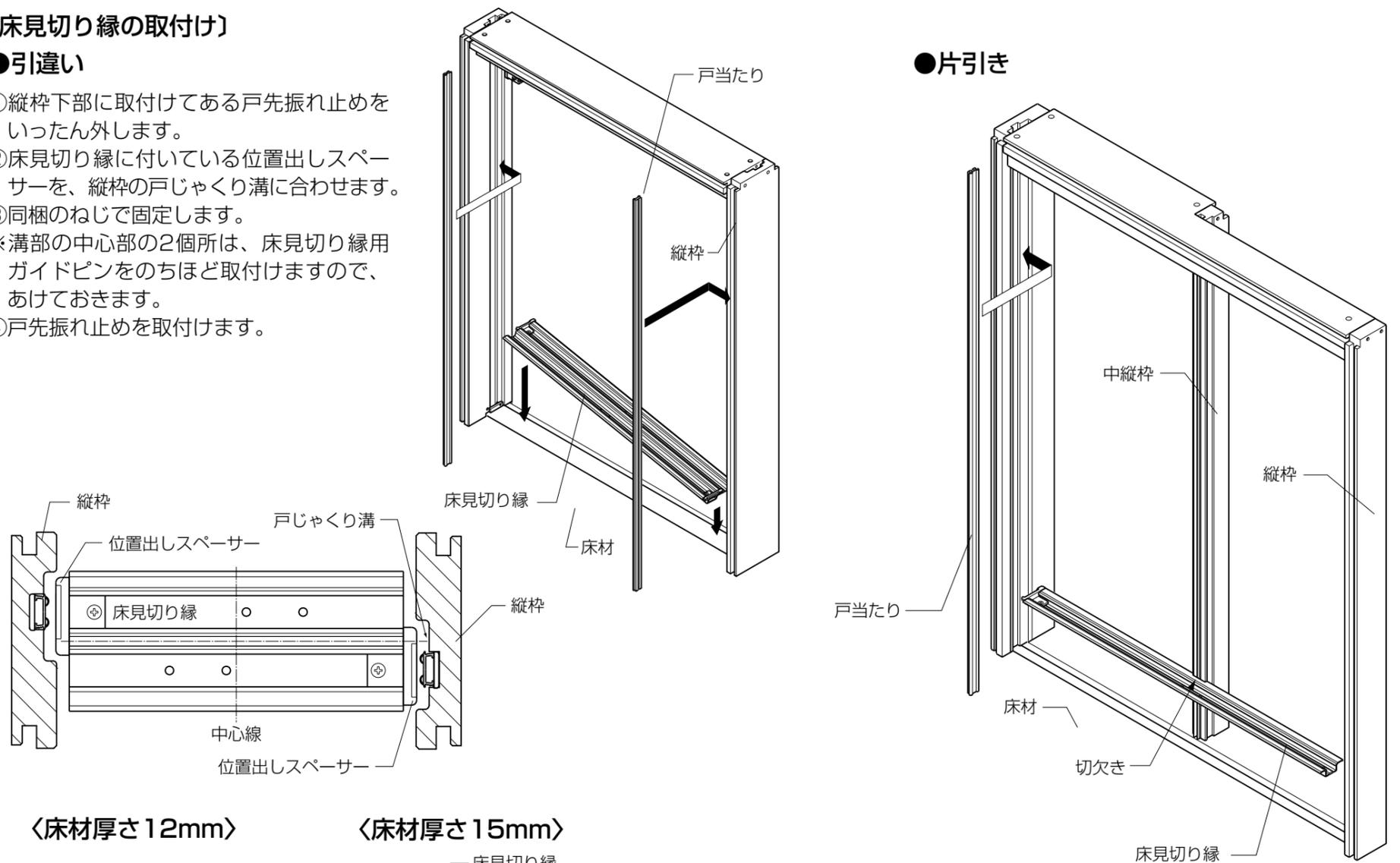


〔床見切り縁の取付け〕

●引違い

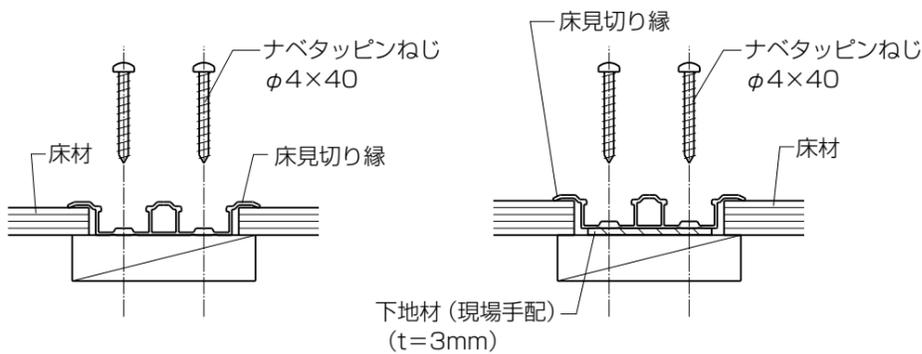
- ①縦枠下部に取付けてある戸先振れ止めをいったん外します。
 - ②床見切り縁に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ③同梱のねじで固定します。
- ※溝部の中心部の2箇所は、床見切り縁用ガイドピンをのちほど取付けますので、あけておきます。
- ④戸先振れ止めを取付けます。

●片引き



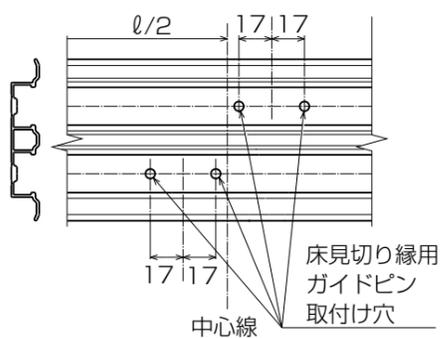
〈床材厚さ12mm〉

〈床材厚さ15mm〉

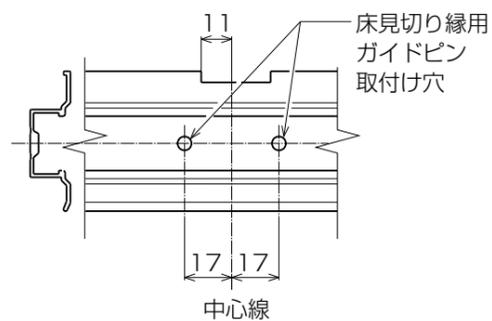


※床見切り縁取付け穴と床見切り縁用ガイドピン取付け穴を間違えないように注意してください。
 下図は床見切り縁用ガイドピン取付け穴位置です。

●引違い用床見切り縁

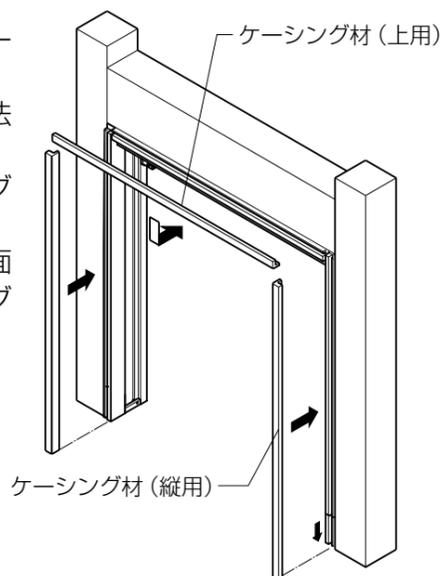


●片引き用床見切り縁標準・幅狭



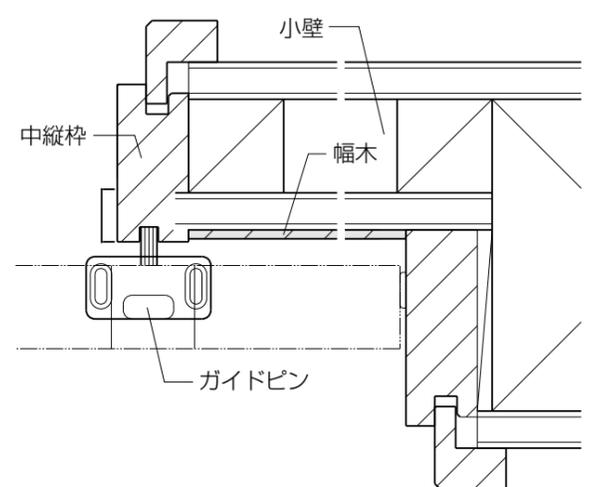
4 ケーシング材の取付け

- 壁材、床材を仕上げた後、ケーシングを取付けます。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。



5 幅木の取付け (片引戸のみ)

- ※片引戸には小壁のボードと床材を見切るために幅木が同梱されています。現場に合わせてご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは200～300mmです。

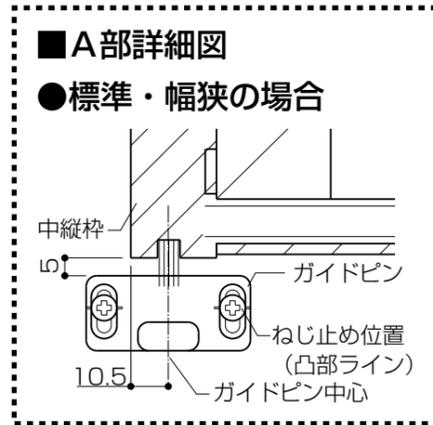
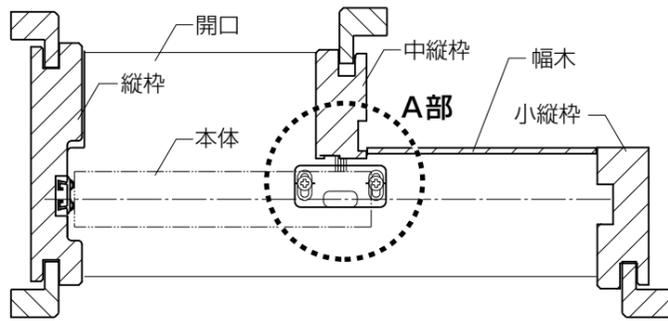


6 ガイドピンの取付け

- ガイドピンを、枠に同梱のねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で固定します。
- ※機種により取付け位置が異なります。必ず下記の説明をお読みください。
- ※本体の開閉操作に影響が出ますので、A部詳細図に従って取付けてください。

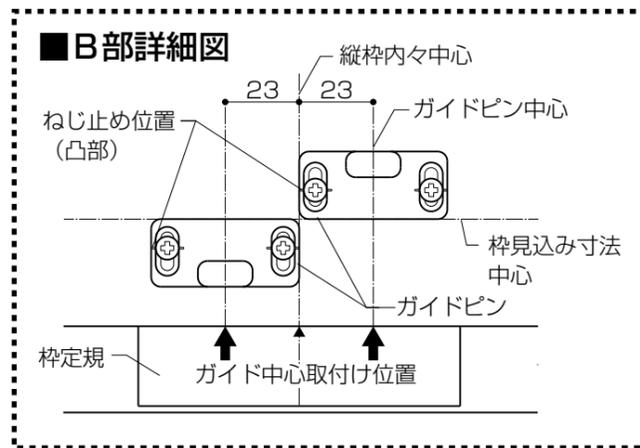
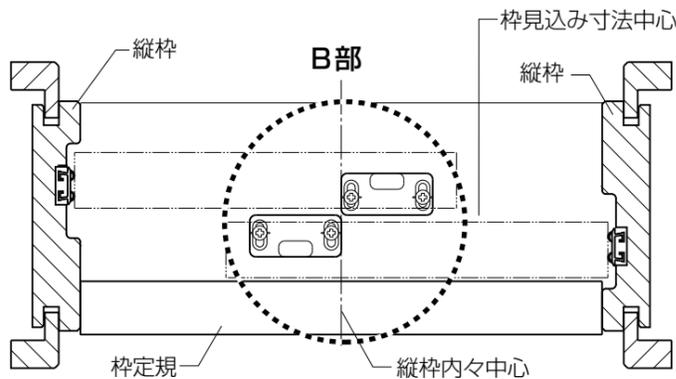
1 片引き(標準・幅狭)の場合

- 図の位置及び向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴(2カ所)の凸印(ライン)の位置にねじ止めしてください。
- ※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と左右対称の位置となります。



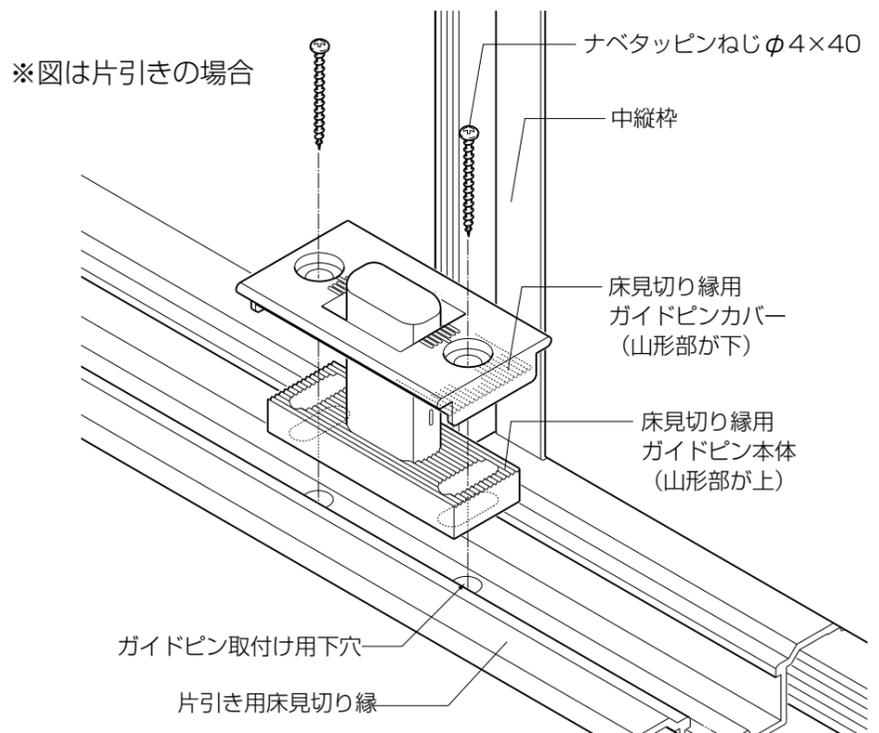
2 引違いの場合

- ①枠定規を縦枠の内々に入れます。
- ②図の位置及び向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴(2カ所)の凸印の位置にねじ止めしてください。



〔床見切り縁を使用する場合〕

- ※床見切り縁を使用する場合も同梱のねじ(ナベタッピンねじφ4×40)で固定します。床見切り、縁にガイドピン取付け用の下穴が、前図のようにあらかじめあいていますので、ガイドピンカバーとガイドピンの中心を合わせて右図のように固定してください。



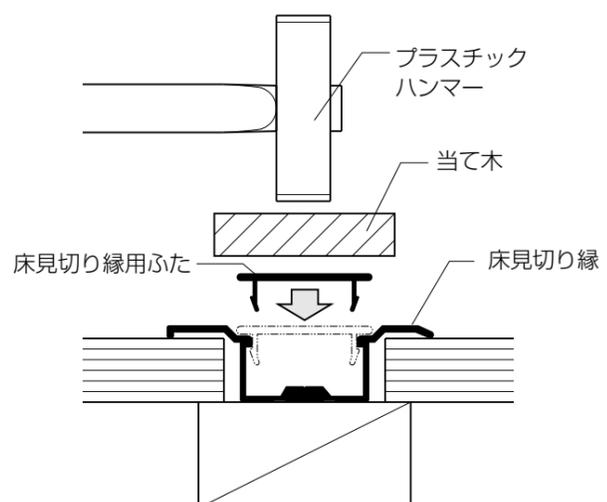
7 溝ふたの取付け

(床見切り縁を使用する場合)

- ※床見切り縁及び床見切り縁用ガイドピンが正しい位置に取付けられているか確認してください。
- 溝ふたの端部が、床見切り縁用ガイドピンカバーにかからない位置に合わせて当て木をし、プラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

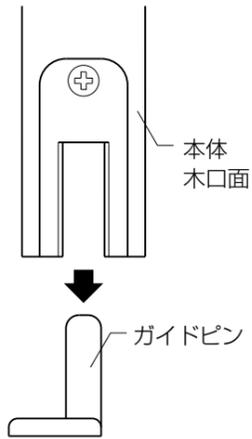
8 戸当りの取付け

- 戸当りに木工用ボンド(現地手配)をつけて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず床見切り取付け後に取付けてください。
- ※片引戸については戸当りを縦枠側と小縦枠側で長さの異なる物を同梱していますので切断する場合は注意してください。

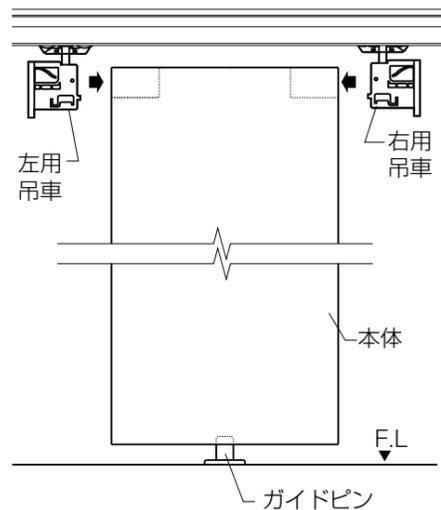


9 本体の吊込み

① 本体を持ち上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れます。



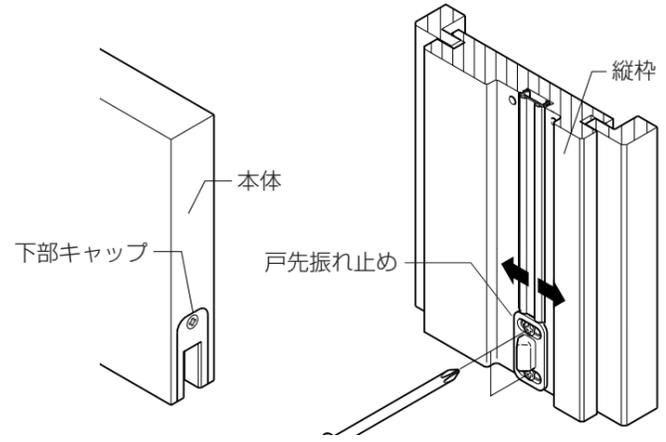
② 片側ずつ吊車を本体に水平に押し込むと、ワンタッチで取付けられます。
※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。



③ 縦枠戸先側フレ止めの位置を調整します。扉を閉めて、フレ止めが本体下部キャップとはめ合わせするのを確認してください。入らない場合はフレ止めのねじを緩めて、位置を調整してください。

■戸先側振れ止めの調整方法

● 上下2カ所のねじを緩め、振れ止めに平行に動かした後、ねじを締めて固定します。



▲ 注意

● 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けない事を確認してください。押し込みが足りないと、本体が落下するおそれがあります。

■本体の建付け調整

● 本体の吊車には、上下方向及び前後方向の調整機能が付いています。

① 上下調整 (調整幅+5mm、-1mm)

● ⊕ドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が下がり、左に回すと本体が上がります。

※ 床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。

※ 本体を下げ過ぎるとガイドピンベース部と本体が当たりますので、下げ過ぎないでください。

② 前後調整 (調整幅±2mm)

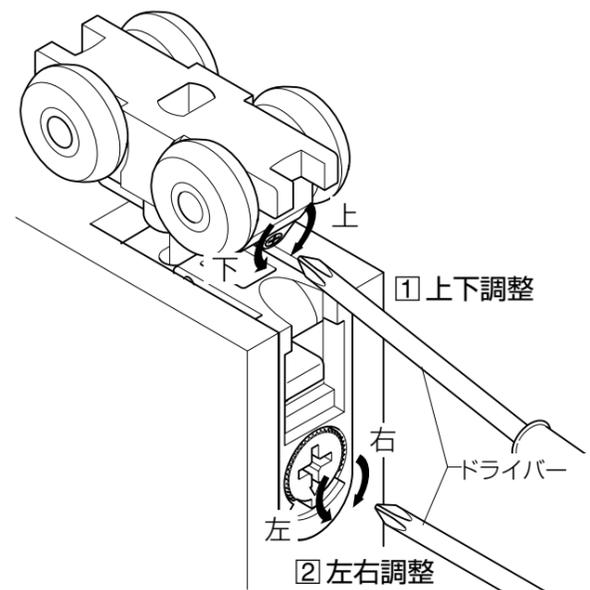
● 前後調整は片引きの場合、中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ9mm)に実施してください。引違いの場合、本体同士のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ8mm)に実施してください。⊕ドライバーで吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が右へ動き、右に回すと本体が左に動きます。

※ 前後調整した場合は、本体が常に垂直になるようにガイドピン及び縦枠下部のフレ止めの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。

■本体の取外し方法

● 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

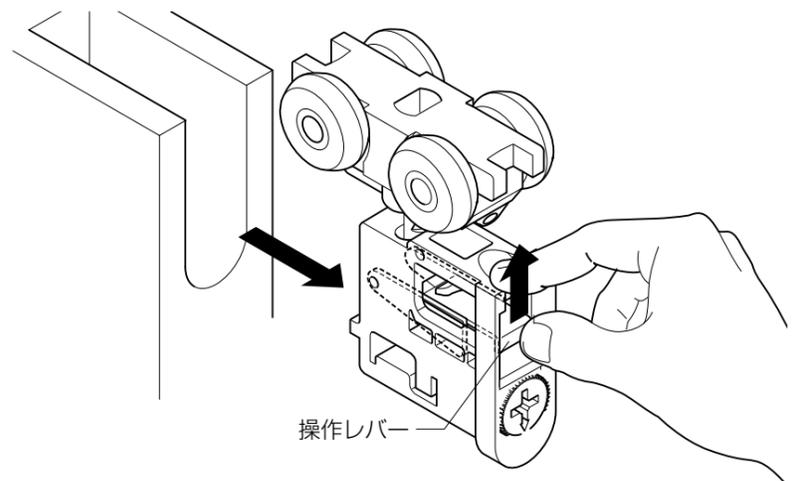
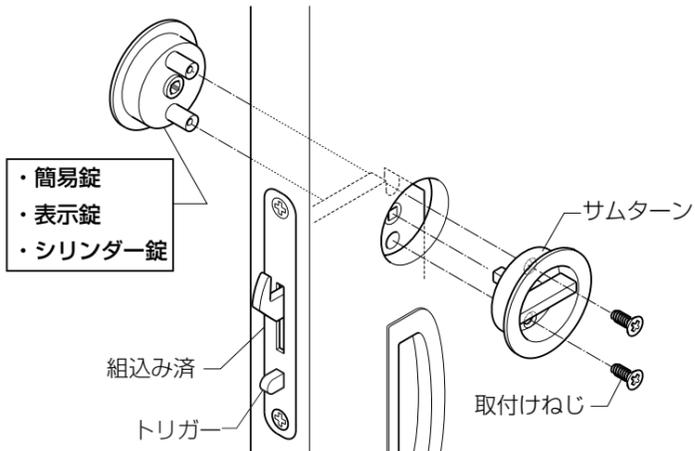
※ 取外しがやりにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用して操作レバーを押し上げながら引抜いてください。



■引戸錠 (サムターンの取付け)

● 別売りの錠を下図のように組立ててください。

※ 取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。



■引戸ボトムシール付きの調整方法

① ガイドピンの位置調整

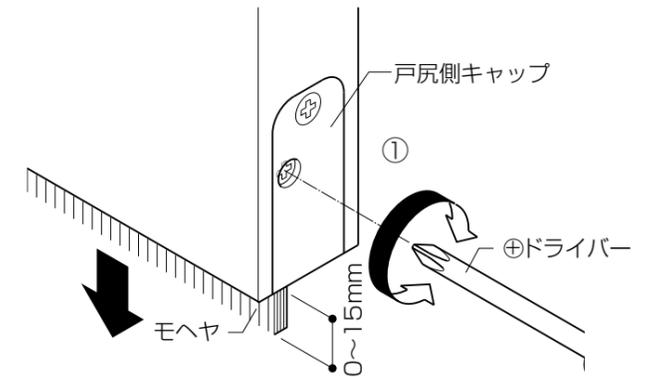
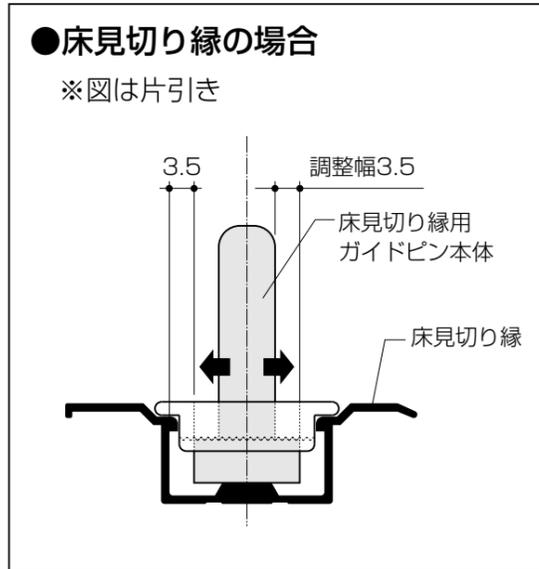
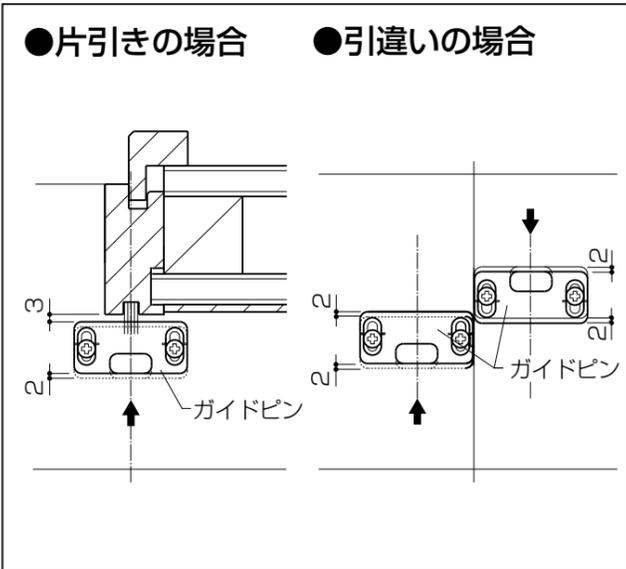
- ①「**⑥**ガイドピンの取付け」で取付けたガイドピンのねじを緩めます。
 ※片引きの場合は、本体を外さずに全開と全閉の状態でもガイドピンの調整ができます。
 ②ガイドピンを中縦枠側へ（引違いの場合は、枠の中心側へ）2mm移動し、ねじ止めします。

② 床見切り縁用ガイドピンの調整方法

- 左記調整方法と同じになります。
 ※ガイドピン取付けねじを緩めて、床見切り縁用ガイドピン本体のみを、左右に動かして調整してください。

③ ボトムシールの飛び出し量の調整 (0~15mm)

- ※調整は、本体建付け調整（特に上下調整）後に実施してください。
 ①本体を吊込んだ状態で、戸尻側木口面下部キャップの穴に⊕ドライバーを差込みます。内部の調整ねじを左に回し、モヘヤ部を下げます。
 ②モヘヤの先端が床に接触する位置まで下げてください。（最大で15mmまでモヘヤ部は、下げられます。）

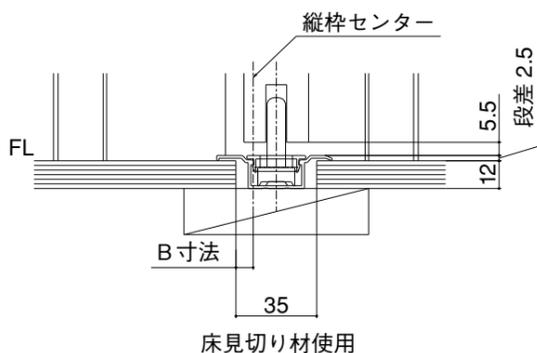
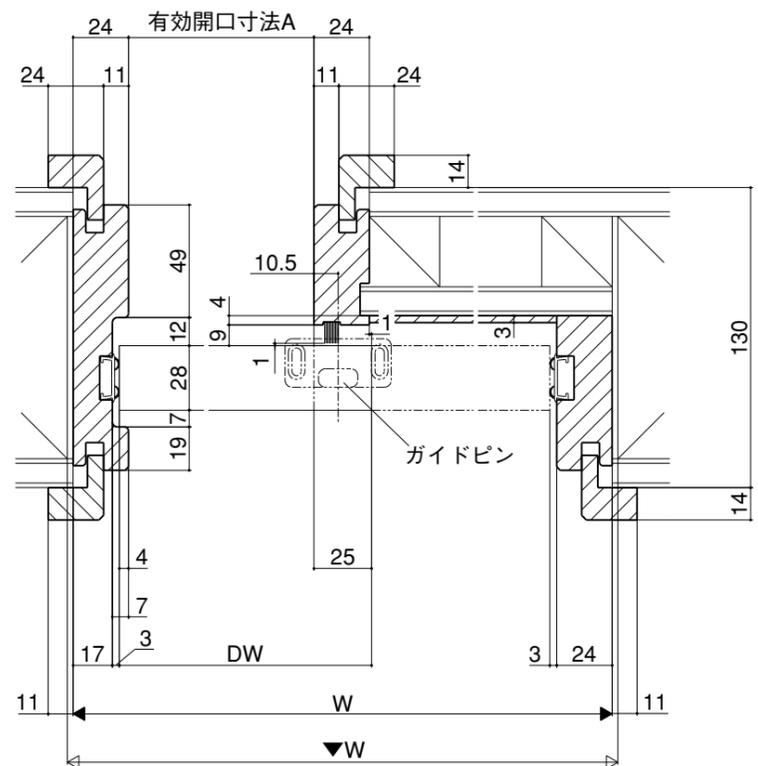
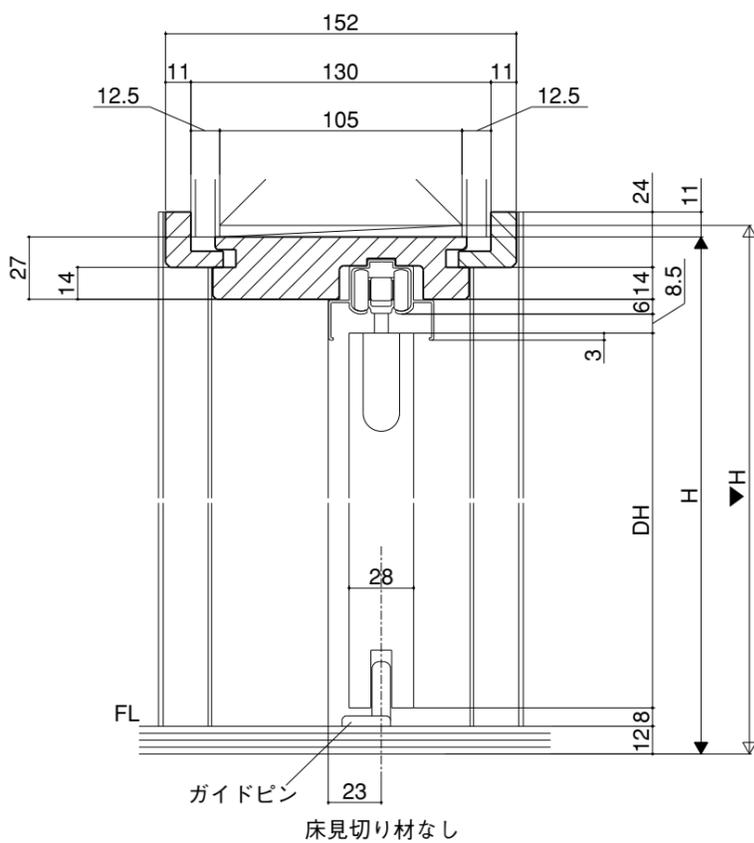


■納まり図

●上吊り片引戸標準・幅狭タイプユニット

縦断面図

横断面図



W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W12 (1192)	556
W13 (1324)	622
W14 (1478)	699
W16 (1644)	782
W18 (1824)	872

